

## 参考資料② 田園関連著作（抄）

			1898 国木田独歩『武蔵野』
			1902 E.ハワード『明日の田園都市』
			1907 内務省地方局有志編『田園都市』
			1909 R.アンウィン『都市計画の理論と実践』 柳田国男「田舎対都会の問題」『時代と農政』
			1910 『白樺』創刊 高松政雄「建築家の修養」『建築雑誌』
			1912 『フェウザン』創刊
			1913 三橋四郎『理想の家屋』
			1915 『アルス』創刊、P.ゲアス『進化する都市』 野田俊彦「建築非芸術論」『建築雑誌』
			1916 住宅改良会機関紙『住宅』発行
			1917 今和次郎「都市改造の根本義」『建築雑誌』 志賀直哉『城の崎にて』
			1918 武者小路実篤『新しき村の生活』
			1919 『改造』創刊 西村伊作『楽しき住家』 L.ウィーバー『今日の田園小住宅』 佐藤春夫『田園の憂鬱』
1920	堀口「建築に対する私の感想と態度」『分離派建築会の作品』（7月）	堀口「ぼうたーするっじ」 堀口「ある住宅への一つの草案」 瀧澤「山岳倶楽部」	1920 遠藤於菟『日本住宅百図』 本間久雄『生活の芸術化』 本野精吾「住宅改造の根本義」『改造』 柳宗悦「朝鮮の友に贈る書」『改造』
1921	矢田「宇宙の孤児」『分離派建築会の作品 第二刊』（10月） 森田「工人的表現」『分離派建築会の作品 第二刊』（10月）	瀧澤「山の家」 矢田「別荘」 濱岡「丘の上の展覧会場」 瀧澤「日本農民美術研究所」 堀口「画室と小温室とを持つ 船川氏の住宅」	1921 西村伊作『田園小住家』 『文化生活』創刊 A.ペーネ「現在のオランダ建築芸術」『ヴァスムート』
1923	大内「郷土芸術への憧憬」『欧州近代建築の主潮』（6月） 大内「田園都市と建築」『欧州近代建築の主潮』（6月） 大内『通俗講和 建築の智識』（11月）		1922 西村伊作『生活を芸術として』 今和次郎『日本の民家：田園生活者の住家』
1924	瀧澤「建築美のために—今和次郎氏に問ふ—」『建築世界』（2月） 濱岡「近代建築史の基調」『建築新潮』（3月） 瀧澤「再び建築美のために—今氏の説を疑ふ—」『建築世界』（3月） 瀧澤「工人のことば」『図案と工芸』（6月） 堀口「オランダの新しい建築の話」『現代オランダ建築』（12月） 瀧澤「序」『現代オランダ建築』（堀口捨己）（12月）	濱岡「八木邸」 堀口「小出邸」 森田「京都大学農学部表門、門衛所」	1923 『建築新潮』創刊 山中節治『建築図案 文化生活と其の住宅』 佐藤春夫『都会の憂鬱』
1925	濱岡「近代建築に於けるロマンティシズム」『建築新潮』（1月） 瀧澤「田園文化と中世紀主義」『農民美術』（1月） 濱岡「小住宅二題」（加納川邸、小泉邸）『建築画報』（10月）	濱岡「伊達邸」「加納川邸」 「小泉邸」 森田「楽友会館」	1924 今和次郎「バラックを美しくする仕事」『建築世界』 『マヴォ』創刊 保岡勝也『日本化した洋風小住宅』 生活改善調査会『住宅家具の改善』 宮沢賢治『春と修羅』
1926	瀧澤「知られざる人々の偉業—中世紀主義論・序編」『建築新潮』（3月） 蔵田『近代英国田園住宅抄』（4月） （『建築画報』1925.4～1926.4まで10回連載） 蔵田「聖シオン会堂」『建築画報』（5月） 蔵田「近代独逸小住宅抄」『建築画報』連載開始（6月） （～1928.3 17回連載） 蔵田「宮原氏邸」「大竹氏邸」『建築画報』（7月） 蔵田「建築論—建築をどう観るかの問題—」『アルス建築大講座2』（9月）	蔵田「大竹邸」「蔵田邸」「宮原邸」 蔵田「聖シオン会堂」「住宅の一群」 堀口「茅葺住家」 瀧澤「土橋氏住宅」 矢田「住宅」 山田「ある受信局」 大内「住宅」	1925 『新建築』創刊 佐野利器『住宅論』 『パウハウス叢書1～8』刊行 志賀直哉『濠端の住まい』
1927	堀口「建築の非都市的なものについて」『紫烟荘図集』（1月） 瀧澤「日本建築を思ふ」『建築新潮』（3月）	堀口「紫烟荘」 堀口「双鐘居」 大内「南国の温泉場にたつ浴場」	1926 武田五一『住宅建築要義』 保岡勝也『理想の住宅』 今和次郎「郷土建築」『アルス建築大講座』 連載5回（～1928） 山崎静太郎「建築論」『アルス建築大講座3』 遠藤新「建築論」『アルス建築大講座4』 柳宗悦「下手もの之美」『越後タイムス』
1928	蔵田「理解ある施主と工事の失敗—米川氏住宅に就て—」『建築画報』（5月） 瀧澤「ゲルマン的形式感情」『建築新潮』（6月） 堀口「大礼記念国産振興東京博覧会を見て感想二題」『日本建築士』（6月） 蔵田・川喜田「仏蘭西美術展覧会モデル・ルームと 民藝館室内に就いての感想」『建築画報』（7月） 石本「第8章伝統派」『最近建築様式論』（岡田孝男）（12月）	蔵田「米川邸」 堀口「茅葺根小住宅」	1927 保岡勝也『和風を主とする折衷小住宅』 保岡勝也『洋風を主とする折衷小住宅』 大熊信行『社会思想家としてのラスキンとモリス』 今和次郎『民俗と建築：平民工芸論』
1929	蔵田「松の樹に囲まれた傾斜地の住宅—石川氏住宅の説明と感想報告—」 『建築画報』（2月）	蔵田「石川邸」	1928 藤井厚二『日本の住宅』 山田醇『家を建てる人の為に』 柳宗悦『工芸の道』
1930	川喜田「所謂「型」の問題」『建築画報』（6月）	堀口「吉川邸」（「ある住宅のバース」）	1929 生活改善同盟会編『新しい日本住宅実例』 岸田日出刀『過去の構成』
1931	川喜田「日本人に適する家具の標準」『建築画報』（7月）、『家具と室内構成』	石本・岡村「アトリエをもつ郊外住宅」	1930 九鬼周造『「いき」の構造』
1932	堀口「現代建築に表われた日本趣味について」『思想』（1月）		1931 『工芸』創刊、『建築・造園・工芸』創刊
1934	瀧澤『「日本的なもの」とは何か』『国際建築』（1月） 堀口「建築における日本的なもの」『思想』（5月）	堀口「岡田邸」	1932 稲垣鷹徳・堀口捨己編『建築様式論叢』
1935	蔵田「住宅雑感：民家」『建築知識』（6月）	蔵田「白柱居」	1933 ブルーノ・タウト来日（3年半滞在）
			1934 石原憲治『日本農民建築、タウト「ニッポン」 「特集・日本建築再検」『国際建築』（1・7月号）
			1935 和辻哲郎『風土：人間学的考察』